

2025年9月9日

各 位

会 社 名： ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証スタンダード市場)
代表者名：代表取締役 姜 輝
問合せ先：管理本部長 鎌田 文明
(TEL：045-317-7888)

(訂正) 株式会社レドックステクノロジーとの開発協業開始のお知らせ

当社は、2025年6月19日付で「株式会社レドックステクノロジーとの開発協業開始のお知らせ」を開示しておりますが、記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

株式会社レドックステクノロジーと販売提携をしている販売会社の一つである株式会社ワテンスは、独立した会社であり株式会社レドックステクノロジー社とは一切の資本関係がありません。記載内容に誤りがあることが判明したため、訂正を行うと同時に各関係会社様にお詫びいたします。

2. 訂正の箇所および内容

訂正箇所には下線を付しております。

<訂正前>

1. レドックステクノロジー社について

レドックステクノロジー社は、2002年2月22日に創立され、電解水生成に関わる新技術の研究・開発と応用分野及び独自の電解層(特許番号：5253483)をはじめとしたシステム開発を通じて、社会の環境・医療・衛生に寄与し、グローバルに世界の「水ビジネス」に大きな影響を与えてきた実績を持つ会社です。レドックステクノロジー社は傘下に株式会社ワテン
ス(東京都 港区南青山)を持ち、同社が開発した電解水を製品展開し、ペット雑貨・衛生
用品雑貨・化粧品から医療、空間除菌など幅広い製品を販売しています。当社が着目した電
解槽は、通常2室構造が多いところ同社は3室構造とし、電解水の機能性を飛躍的に高める
ことに成功しています。更に電解水の分野では世界的な論文を発表されており、WHOのデータ
ベースにも登録されております。

<訂正後>

1. レドックステクノロジー社について

レドックステクノロジー社は、2002年2月22日に創立され、電解水生成に関わる新技術の研究・開発と応用分野及び独自の電解層(特許番号：5253483)をはじめとしたシステム開発を通

じて、社会の環境・医療・衛生に寄与し、グローバルに世界の「水ビジネス」に大きな影響を与えてきた実績を持つ会社です。レドックステクノロジー社は提携販売会社等を通じて、同社が開発した電解水を製品展開し、ペット雑貨・衛生用品雑貨・化粧品から医療、空間除菌など幅広い製品を販売しています。当社が着目した株式会社レドックステクノロジー社の電解槽は、通常2室構造が多いところ同社は3室構造とし、電解水の機能性を飛躍的に高めることに成功しています。更に電解水の分野では世界的な論文を発表されており、WHOのデータベースにも登録されております。

以上

株式会社レドックステクノロジーとの開発協業開始のお知らせ

ウインテスト株式会社（神奈川県横浜市西区 代表取締役 姜 輝、以下「当社」という）は、株式会社レドックステクノロジー（本社 札幌市豊平区 代表取締役 片山 晶彦、以下「レドックステクノロジー社」という）と2025年6月16日付で、電解水の生成技術について協業を開始いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. レドックステクノロジー社について

レドックステクノロジー社は、2002年2月22日に創立され、電解水生成に関わる新技術の研究・開発と応用分野及び独自の電解層（特許番号：5253483）をはじめとしたシステム開発を通じて、社会の環境・医療・衛生に寄与し、グローバルに世界の「水ビジネス」に大きな影響を与えてきた実績を持つ会社です。レドックステクノロジー社は提携販売会社等を通じて、同社が開発した電解水を製品展開し、ペット雑貨・衛生用品雑貨・化粧品から医療、空間除菌など幅広い製品を販売しています。当社が着目した株式会社レドックステクノロジー社の電解槽は、通常2室構造が多いところ同社は3室構造とし、電解水の機能性を飛躍的に高めることに成功しています。更に電解水の世界では世界的な論文を発表されており、WHOのデータベースにも登録されています。

2. 業務提携の背景及び内容

当社は、[環境省](#)の推進する「[30 by 30](#)」活動に参加しており、産業向けアルカリ洗浄水分野に着目しておりました。当該分野では一般に苛性ソーダを使った毒性の高い洗浄水が使われており、作業にもまた廃棄に至っては大変環境負荷が大きいことが問題となっております。そのような中、当社は、「人にも環境にも優しい」水素ナノバブル・アルカリイオン洗浄水生成装置を開発し、主には半導体関連並びに産業用エアコンなどの洗浄に提供することを想定していました。この度、すでに30年以上の先行した開発及び実績を持つレドックステクノロジー社と協議したところ、当社意向に賛同頂き、同社から高性能電解層を供給して頂けることとなりました。本提携により当社が製造する電解水生成装置の能力は飛躍的な向上が期待され、また、よりバラエティに富んだ電解水（次亜塩素を含む高酸化水と高還元力水など）の生成が可能となり、単なる産業用洗浄水の領域だけでなく、植物工場での利用や広範囲空間殺菌事業領域をも含んだ幅広い市場向けに水素ナノバブルイオン電解装置の販売を行なうことが可能となりました。

3. 業績に与える影響について

なお、当該提携による2025年12月期の当社業績への影響は軽微であります。

以上